

FEDO ダリット女性に対する暴力の削減プロジェクト

2016 年報告

フェミニスト・ダリット協会 (FEDO) パルサ支部

2016 年 4 月～2017 年 3 月

はじめに

不可触とカースト差別、ダリット女性と子どもに対する抑圧と暴力、そして女性と子どもの紛争被害者の権利の問題に対処するために、FEDO パルサ支部はパルサにある 82 の村落開発委員会 (VDC) とビルガンジにある 22 カ所のダリット居留地において、浄土宗平和協会の支援と IMADR の協力のもとプロジェクトを実施してきました。

その他、健康および衛生に関するプログラムなどダリット女性のエンパワメントと地位向上のためのプログラムに取り組んでいます。

上半期の活動

	活動内容	回数	
		目標	実際
1.	ダリット女性グループの強化と動員	25	27
2.	意識高揚のための戸別訪問	12	12
3.	ジェンダー平等と DV に関する夫婦トレーニング	2	2
4.	地区レベルでの DV に対する活動の強化と動員	1	1
5.	四半期フォローアップ会議	3	3
6.	地元行政機関とのネットワークと調整の会議	1	1
7.	支部オフィスによるモニター	3	3
8.	集会	1	1
9.	報告	-	-

1. ダリット女性グループの強化と動員

ダリット女性に対する暴力削減プロジェクトのもと、多数のダリット女性グループに能力向上とリーダーシップ育成のトレーニングを行った。取り上げたテーマは以下の通りである。

- * 持参金制度
- * 子どもの学校入学
- * 夫婦の紹介
- * 女性に対する暴力の通報
- * 貯金と貸付
- * DV と近隣地域内の暴力

成果：トレーニングにより、148 人の子どもたちが学校に入学した。

コミュニティ啓発チームが結成された。

グループ会議が定例化された。

女性たちが暴力に対して声をあげるようになった。

3-添付資料：活動報告書

町役場の援助でヴァンサル・シリヤの女性たち 28 人が野菜の栽培を行った。
グループ貯金を行った。

<u>貯金グループ</u>	<u>貯金高</u>	(ネパールルピー)
チェッタナグループ	6,890	
ジャクリッティグループ	5,380	
ジャヤマハビルグループ	4,650	
サハリダリ・ウッタタタリン	376,091	

2. 意識高揚のための戸別訪問

ダリット女性に対する暴力を削減するために戸別訪問を行い、以下のテーマを取り上げた。

- * 持参金制度
- * 子どもの学校入学
- * 夫婦の紹介
- * 女性に対する暴力

持参金制度の話題に参加者は大きな関心を示した。ネパール社会にはこの慣行が長年続いており、人びとを苦しめている。参加者はこの制度のもとでの悪しき慣行がなくなり、貧しいダリット家庭が負担から免れるよう願っている。特に近年では、家財道具や衣類、バイク、現金などより高額な金品が求められるようになってきた。

学校入学キャンペーンは効を奏した。多くの親が教育の重要性を理解し、子どもの入学率が上がった。キャンペーンの内容は以下の通りである。

- * 対象世帯数：207
- * 女性： 461 人
- * 男性： 502 人

成果： * 幼児婚と女性に対する暴力が減った。
* 女性たちはためらうことなく自分たちの問題を発言できるようになった。

3. ジェンダー平等と DV に関する夫婦トレーニング

6 月 29 日と 30 日、夫婦のための意識高揚トレーニングを行った。2 日間のプログラムに 23 人が参加した。そのうち、女性が 16 人で男性が 7 人であった。取り上げたテーマは以下の通りである。

- * 参加者の姿勢の変化
- * 女性に対する暴力の認識
- * 男性の積極的な参加

3-添付資料：活動報告書

4. 地区レベルでの DV に対する活動の強化と動員

ダリット女性グループの活動強化のためのトレーニングを5月28・29日および9月14・15日に行った。トレーニングのタイトルは「DVに関する地区レベルの活動強化トレーニングのおさらい」であった。2日間の内容は以下の通りである。

1日目

1. 登録
2. 自己紹介
3. トレーニングへの期待と進め方
4. 女性に対する暴力、DVそして幼児婚に終止符を
5. 女性に対する暴力の通報手続き
6. 事故にあった時の通報手続き

2日目

1. 振り返り
2. 女性グループの任務と責任
3. FEDOをどのように維持していくか
4. 女性グループの能力向上
5. 交通費清算と閉会

成果： 1. 女性グループは女性に対する暴力廃止の活動をそれぞれの村から始めた。
2. 暴力が自分自身の生活にあるかどうか見直した。
3. グループメンバーが30人の嫁姑に2時間のトレーニングを行った。

5. 四半期フォローアップ会議

四半期の見直しフォローアップ会議を3回行った。22人のメンバーが参加した。そのうち、16人が女性で6人が男性であった。参加者はコミュニティ発展のために努力を誓った。

成果： 1. ダリット女性グループのメンバーが諮問委員に選ばれた。
2. 145人の子どもが学校に入学した。
3. 地区開発プログラムに参加することができた。
4. 地区の権利フォーラムにメンバーが指名された。
5. ダリット女性グループのレカ・パスワンが地区アドボカシーネットワークのメンバーになった。
6. 10人のダリット女性がクリエイティブスキルセンターによる縫製と裁断のトレーニングを無料で受けた。
7. タキヤ・デヴィ・パスワン・グループの若いメンバーが無料の石工の訓練を受けた。
8. 女性に対する暴力のケース8件を解決できた。

6. 地元行政機関とのネットワークと調整の会議

3-添付資料：活動報告書

5月25日、地元の関係者にプログラム活動や成果について報告するための会合を開いた。合計23人が参加した（女性6人、男性17人）。プログラムにはFEDOパルサ支部の支部長ニラ・クマル・ラムと、地元の町長ケシャブラジュ・ギミレが参加した。

町長によれば、組織を地元当局に登録すればさまざまな支援を受けることができる；現場のニーズにあった形でプログラムを計画して実施すればもっと効果があがるだろう；所得創出の活動もやってみようか、と提案した。

- 成果：
1. 組織を当局に登録する機会をえた。さまざまな支援へのアクセスが開ける。
 2. コミュニティ安全サービスのメンバーになった。
 3. ラディカ・クマル・サラフがメンバー登録した。

7. 支部オフィスによるモニター

- 成果：
1. 10人のダリット女性のための無料の縫製と裁断のトレーニング。
 2. 無料の意識高揚とトレーニング。
 3. 子どもたちの栄養を考えた食事が始まった。

8. 集会とデモ

2017年3月8日の国際女性デーに女性グループが集まった。参加者は39人で、スローガンは「大胆に変化を求めよう」であった。

事例紹介：レッカ

レッカは18人のメンバーがいるサムサリマル・ダリット女性グループの代表である。FEDOのグループ活動を始めるまで彼女は普通の主婦であった。結婚して15年、パルサの一つのVDCに2人の息子と暮らし、自分の気持ちを表現することもなく家事に専念していた。ネパールの慣行であるグムトに従い、彼女はいつもベールをかぶっていた。FEDOの集まりに参加する機会をえて、彼女は活動に関わり始めた。健康と衛生に関するトレーニングにも参加し、所得創出の活動にも関わった。そうした活動にかかわることで彼女の考え方や姿勢は変わっていった。彼女の夫も活動に参加した。現在彼女はUNDP（国連開発計画）の女性のアドボカシー相互作用プログラムにも参加しており、地域の意識高揚センターのコーディネーターを務めている。

レッカはFEDOに参加するまでは自分自身が暴力の被害者であると気づいていなかった。今は、社会のなかに異なるタイプの暴力があると認識するようになった。FEDOのプログラムにより、コミュニティの人びともDV、身体的暴力、社会的暴力、精神的暴力の違いに気づくようになった。そのため、地域ぐるみで問題を特定して対処できるようになった。

事例紹介：マヤ・デヴィ・ラム

マヤ・デヴィ・ラムは40を過ぎた貧しい女性であり、現在バイリヤVDCに住んでいる。彼女の夫は身体が弱いので働くことができない。家族を支えるために、彼女は産婆の仕事をしている。2年前、

3-添付資料：活動報告書

彼女は大変な状況にあった。夫が目に深い傷を負い働けなくなったため、収入が途絶え、家族は貧しさと飢えに苦しんだ。夫の目の手術費もなかったとき、FEDO パルサ支部と出会い、夫の目の治療のために支援してもらうことができた。

現在、彼女はパルサ支部のビンダバサニ・ダリット女性グループの代表である。また、コミュニティ意識高揚センターのコーディネーターも務めており、学校管理委員会の活発なメンバーでもある。彼女はまた、幼児婚、持参金制度、一夫多妻などの悪しき慣行を止めさせるための圧力グループにも関わっている。マヤはFEDOの活動をするようになり、自分の権利に気づき、さまざまなプログラムにも参加するようになった。

<写真> 上：パルサ支部役員の会合

下：女性グループと専従スタッフのミーティング

